

『看護の日の催し』について

QC 委員会委員長 宮内 朋栄

5月18日（金）イオンモール大和郡山にて「発見 ストレスと上手につきあう方法」というテーマで看護の催しを行いました。

毎年「看護の日」に地域住民の方に健康への関心を高めてもらうことと、心と体の健康の維持・増進に寄与することを目的として催しを企画し実施しています。今回は会場であるイオンモール大和郡山のキャッチフレーズである「ママが輝く笑顔になる」をもとに子育てやファミリー世代向けのストレス解消法についての催しを行いました。

実施内容としては、健康チェック（血圧測定・ストレスチェック）ちょっといい話のコー



ナー（ストレスとうまくつきあう方法：ストレスについての考え方や対応方法について（矢木康寛看護師）と認知症の方とのストレスフリーな関わり方：失語・物盗られ・記憶障害について（牧野陽子看護師）、リラックコーナー（ハンドマッサージ）、何でも相談コーナー（お薬相談・栄養相談・子育て相談・介護相談）、みんなの遊

びコーナー（バルンアート）であり、事務部門はじめコメディカル部門の方総勢 20 名の職員の参加により実施することができました。

今回は初の試みとして、スタンプラリーを実施しました。具体的には前年度骨密度測定の希望者が多く、待ち時間が長かったため、健康チェックを受けた方のみ骨密度測定ができる形にしました。それに伴い健康チェックのブースが混雑することを想定し、スタッフの人数を多く配置しました。結果大きな混雑無く、来場者は約 250 名でした。



また、今回の目玉である『ちょっといい話のコーナー』は、集団でのレクチャーは 1～2 回でしたが、個別の相談を何度か設けることでゆっくり話を聞かせてもらい、アドバイスをすることができました。来場者の中には前年度から参加して頂いている方も大勢来られ、「次はいつするのですか？」など話をされ、期待して頂いている印象でした。

そしてもう一つ頼人（ライジン）ジャーに登場してもらい、子供たちと記念写真を撮ったり、バルンアートを手渡したりすることで、当院のイメージのひとつになったのではないかと思います。次回は秋の健康フェアを予定しており、今回の学びを活かし、来場者はもちろんのこと職員も楽しめるような内容にしたいと思います。